



柏崎高校 *Grand Design*

教育目標

- 1 能動的な学習をすすめ、論理的思考力と個性的創造力に富む人間を育成する。
- 2 伝統を負う団体の一員として、また平和な国家社会の形成者として責任を自覚しつつ、自己実現の努力を惜しまない、品位の高い人間を育成する。
- 3 体育とスポーツに親しみ、積極的に体力の充実をはかり、自信をもって学校生活を送ることのできる気魄のある人間を育成する。

育てたい生徒像

- (1) 自ら課題を発見し、創造的に解決の道筋を探究していく果敢な生徒
- (2) 郷土の誇りを胸に他者と協働し、困難を克服していく気魄のある生徒
- (3) 目標を見極め、生きて働く知識・技能を身につける賢明な生徒

育てたい資質・能力

- 健全な心身 ●人権感覚 ●規範意識
- 協調性 ●チャレンジ精神 ●リーダーシップ
- グローバルな国際感覚 ●思考力 ●判断力

『服装自由化宣言』に
象徴される
自主自律の精神

服装自由化宣言 (中略)

一、私達は、個人の自主的精神に最大の尊厳と価値とを与え、よってここに服装の自由化を宣言する。
一、私達は、自由な服装を着用する権利を得るとともに、その一切の責任を自ら負わなければならない。

この新たな改革に、多少の障害は生ずるであろうが、私達はこの改革によって得た自由には、そして全ての自由についてもそうであるが、常に個人の確たる自覚と良識が期待されていることを忘れまい。私達は、今までより以上に高校生たることを自覚し、全力をあげて、かの理想を達成することを誓う。

昭和 48 年 1 月 30 日
柏崎高等学校親友会

校歌

中西利徳 作詞
村山沼一郎 作曲

1. 米峰突兀 雲を貫き み空に系がく 玉芙蓉
ああ 麗しく ああ高し くらべても見む わが校や
2. 怒濤澎湃天を衝き 逆巻き寄する 日本海
剛毅勇健誠実の 我等が意気を ここに見よ
3. 義侠に勇み 武に強く 威風 天下をなびかせる
霜台公が 旗あげし 仰げ 米山 その旧跡を
4. 右文尚武 勤儉に 重き責任 尽くされし
楽翁公が 旧治蹟 汲め 白河のその流れ
5. 霜凜烈の 朝まだき 雪線乱の 夕まぐれ
守れや 規律 厳かに 踏みならしてよ 我が健児
6. 螢を集め 雪を積み いやいそしみて 身を照らせ
世は 我が起つを 待てるなり 何処 飛躍の地 ならざる
7. 謳ひて祝がむ 諸共に 葉守の神の 柏木の
常磐堅磐に 色そひて 根ざし揺るがぬ 我が校や

- 教科指導：ICT機器を活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に実現する
- 進路指導：生徒がその資質・適性・志望に応じた進路先を自ら選択し、有為なリーダーを育成・輩出する
- 学年経営：それぞれの成長段階に応じて、学習目標と進路目標を軸にした各学年における達成目標を実現する
- SSH：科学的リテラシー・探究力を有し、将来の科学技術イノベーションを担う人材を育成する
- 学校行事：体育祭、修学旅行、文化祭、全校登山などの行事や活動を通して、協働的な学びを実践する
- 部活動：文武両道の実践を通して、常に向上心を持って仲間と高め合い、健全な心身を確立する



柏崎高校 *Grand Design*

各学年における指導方針

学習・進路

学校行事・部活動

1 学年

自己理解・社会理解と学習習慣の確立

- ①学習に対する姿勢を固めさせ、家庭学習の習慣を確立させる。
(特に英語・数学・国語に集中して取り組ませ、基礎学力の向上を図る)
- ②自己の適性や能力の発見・把握に努めさせ、文理選択に向けて、学問の系統と職種等の関係を理解させる。
- ③オープンキャンパスやサイエンスツアーを通し、全国的な視野を持たせ、学習の質・量の確保に努めさせる。

①学校行事や②部活動を含めた学校生活全般を通して育成する資質や価値観

- 基本的な生活習慣
- 規範意識
- 倫理観
- 人権感覚
- 社会性

①学校行事 ～生徒が主体的に参画～

- ◎体育祭 ◎文化祭 ◎米山登山
- ◎修学旅行 ◎スキー教室など
- (2学年) (1学年)

- ・親友会(生徒会)が主体となって仲間と協働しながら行事を企画・運営することによって創造する喜びと達成感や充実感を体得させる。
- ・伝統ある行事を先輩から後輩に継承する責任感とクラスやチームを牽引するリーダーシップ性を醸成する。

②部活動 ～右文尚武(文武両道)の実践～

- ◎運動部(13)、◎学芸部(10)

- ・常に向上心を持って、ひたむきに鍛錬を継続することが個人やチームにとって成長の原動力となることを実感させる。
- ・チームや仲間、先輩・後輩で、お互い切磋琢磨しながら健全な心身を育成する。
- ・困難を克服し、果敢に挑戦するチャレンジ精神を大切にする。

2 学年

経験・視野の幅の拡大と学びの深化

- ①系統から学部・学科へと大学調べを深めさせ、オープンキャンパスや大学模擬講義などを通して学問の一端に触れさせる。
- ②志望大学を絞り込む中で受験科目を把握させ、次年度に向けての適切な科目選択を行わせるとともに、国・数・英の基礎力の早期完成に努めさせる。
- ②1年後の入試に向けて今から何をすべきかを自覚させ、家庭学習時間の見直しと志望校の絞り込みを始めさせる。

3 学年

進路希望の実現に向けた取組みの継続

- ①大学入試までの残り日数を逆算することにより、具体的な学習計画を立てさせ、それを実践させる。
- ②これまで身に付けた基礎学力を応用力へと発展させながら、志望校をめざすための記述力も習得させる。
- ③志望校の選択幅を持ちながら、モチベーションを高く保ち、最後まで粘り強く進路実現に取り組ませる。